

一般質問通告表

平成28年第3回沖縄県議会(定例会)

07月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	新垣 光栄(おきなわ)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 MICE建設に伴う東海岸のまちづくりについて</p> <p>(1) 大型MICE建設が中城湾港マリンタウン地区に決定され1年1カ月が過ぎた。事業の進捗状況と今後の行程はどのようになっているか伺う。</p> <p>(2) 道路行政について</p> <p>ア 昭和56年に策定した沖縄県総合交通体系基本計画について伺う。</p> <p>イ 県道38号線(浦添西原線)の進捗状況と今後の行程について伺う。</p> <p>ウ 国道329号、南風原・与那原バイパスの進捗状況と国道329号延伸(北伸)計画について伺う。</p> <p>(3) 公共交通について</p> <p>ア 鉄軌道計画案の進捗状況について伺う。</p> <p>イ LRT(新型路面電車)導入計画について伺う。</p> <p>ウ モノレール導入計画について伺う。</p> <p>(4) 護岸工事計画(中城・北中城)について</p> <p>(5) 土地利用計画(那覇広域市街化調整区域)見直しについて</p> <p>2 子供の貧困対策と教育について</p> <p>(1) 沖縄の子供の貧困緊急対策事業の現状を伺う。</p> <p>(2) 各市町村との連携について伺う。</p> <p>(3) 学校現場との連携について伺う。</p> <p>ア 学校を子供の貧困対策のプラットフォームとして位置づけ、教育の支援を推進することになっているが、現状を伺う。</p> <p>3 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成28年第3回沖縄県議会(定例会)

07月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	山内 末子(おきなわ)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 参議院議員選挙の結果を受けて知事の見解を伺います。
- (2) 沖縄平和人権問題研究所の設立に向けた取り組み状況を伺います。
- (3) 平和祈念公園の運営について
 - ア 平和の礎には毎年、犠牲になった方の追加刻銘もあり、世界からも平和の創造の地として注目されています。戦後、基地あるがゆえの事件・事故で命を奪われた被害者も言うなれば戦争の犠牲者だと考えます。その犠牲者の刻銘碑を建立し、歴史に刻み込む必要があると考えます。見解を伺います。
 - イ 平和祈念資料館に、戦後の米軍関係の事件・事故の資料展示を設置するべきだと考えます。見解を伺います。
- (4) 宮森小学校ジェット機事故について
 - ア 事故の様子の写真や、補償関係、米国と日本政府の交渉状況など、まだ知られてない状況があります。県として宮森630会と協力して実態解明に努める用意があるか見解を伺います。

2 エネルギー政策について

- (1) 4月1日の電力自由化後、3カ月が経過したが、県内における新電力会社の動きと本土及び県内のスイッチング実績の状況把握に基づく県の取り組み姿勢を伺います。
- (2) バイオマス発電は、再生可能エネルギー3番目の発電として有望である。4月、6月に導入されたバイオマス発電事業の状況と今後の取り組みについて伺います。

3 産業振興について

- (1) エネルギー資源に乏しい我が県にとって水溶性天然ガスの利用は重要だと考えます。水溶性ガスにあわせて同時に得られる可能性のあるヨウ素とその事業化について県の見解と積極的支援策について伺います。
- (2) 県内ホテルにおける省エネ事業の状況と県の対応について伺います。
- (3) かりゆしウエアの振興について
 - ア かりゆしウエアの普及状況の動向を男女別に伺います。

4 観光政策について

- (1) 本土中高生修学旅行の状況把握と県の支援策について
 - ア 実績と課題について
 - イ 観光振興としての民泊事業との関連について見解と今後の取り組みを伺います。
 - ウ 海外観光客の今後の展開、課題を伺います。

5 環境政策について

- (1) 嘉手納基地を汚染源とするPFOS汚染についての県の対応について(企業局、環境部、知事公室)伺います。
- (2) 読谷補助飛行場跡地の土壌汚染の件に関する県の対応を伺います。

6 教育行政について

- (1) 文化財保護の観点から伊波城跡整備計画についての県の取り組み状況を伺います。

(2) 県内児童生徒の体力テストの状況を伺います。(全国比)

7 福祉行政について

(1) 認可外保育園の給食費支援の状況について

(2) 県内の年金の納入率の推移を伺います。(全国比)

(3) 無年金者の状況とその推移を伺います。

一般質問通告表

平成28年第3回沖縄県議会(定例会)

07月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	狩俣 信子(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 性暴力被害者ワンストップ支援センターについて</p> <p>(1) 県立中部病院に設置されるワンストップ支援センターの進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 施設の経費(予算)は幾らか。また、今後必要に応じて予算をつけることはできるのか。つくるからには、利用者の使い勝手のよいものにしていただきたい。</p> <p>(3) できた後の運営については、どのように考えているのか。</p> <p>(4) 医師や看護師、いつでも対応できる相談員など多くの皆さんの支えが必要だと思うが、具体的な対応について伺う。</p> <p>2 教育関連について</p> <p>(1) 八重山農林高校の寄宿舎改築について</p> <p>ア 現在の進捗状況を伺う。</p> <p>イ 設計の段階での学校との意見交換はどうか。学校からの要望は改善されているのか。</p> <p>ウ 舎監の配置について伺う。</p> <p>エ 離島のさらに離島から来る生徒のメンタルヘルスが問われているが対応を伺う。</p> <p>(2) 農林高校でつくられる農畜産物の売り上げ金は年間どのくらいか伺う。</p> <p>(3) 離島で非常勤の職員を探すのが困難とのこと、どのように対応しているのか伺う。</p> <p>(4) 教職員の病休・精神疾患の過去3年の状況を伺う。</p> <p>(5) 少人数学級の現状を伺う。</p> <p>3 福祉関連について</p> <p>(1) 子供の貧困問題がクローズアップされ、県を挙げて取り組まれることに感謝している。その中で、子供の居場所づくりがどう取り組まれているのか伺う。</p> <p>(2) 子ども食堂のあり方について、全てボランティアで行うのは限度があると思うが、県としての支援はどうなっているのか伺う。</p> <p>(3) 生活保護世帯の過去3年分の推移を伺う。高齢者(65歳以上)についてはどうか。</p> <p>4 給付型奨学金の拡充について</p> <p>(1) 県内の貸与型奨学金を受けている人数はどのくらいか伺う。</p> <p>(2) 卒業後返済で苦しむ人が多い。そのような人への対応はどのようにしているのか伺う。</p> <p>(3) 県外の難関大学への給付型奨学金だけでなく、県内の大学や専門学校へ通う子供たちへも拡大できないか伺う。</p>			

一般質問通告表

平成28年第3回沖縄県議会(定例会)

07月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	親川 敬(おきなわ)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 県民の過重な基地負担について</p> <p>(1) 知事の政治姿勢について</p> <p>ア 辺野古新基地建設阻止に向けた知事の政治姿勢を伺う。</p> <p>(2) 米軍基地の現状について</p> <p>ア 各都道府県における米軍基地の面積と占める割合について</p> <p>イ 沖縄の米軍施設の所有形態別面積とその割合について</p> <p>ウ 在日米軍構成員等に占める在沖部隊ごとの人員と割合について</p> <p>(3) 米軍基地に由来する事件・事故等について</p> <p>ア 米軍構成員等による事件・事故とその起訴率について</p> <p>イ 演習関連による事件・事故について</p> <p>ウ 返還施設で問題になった汚染物質の種類について</p> <p>2 基地と沖縄の経済関連について</p> <p>(1) 沖縄振興予算の編成の現状と他府県との比較について</p> <p>ア 国庫予算支出額について</p> <p>イ 地方交付税について</p> <p>ウ 基地関連収入について</p> <p>(2) 返還跡地利用におけるそれぞれの経済効果について</p> <p>ア 土地利用について</p> <p>イ 所得と税収について</p> <p>ウ 雇用について</p> <p>3 各市町村の「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略」について</p> <p>(1) 人口ビジョン将来推計の状況について</p> <p>ア 増加、現状維持、減少とした団体とその割合について</p> <p>イ 将来への影響で地域コミュニティとした団体とその割合について</p> <p>(2) 総合戦略の共通施策について</p> <p>ア 移住定住促進等とした団体とその割合について</p> <p>イ 農業振興等とした団体とその割合について</p> <p>(3) 市町村の分析・戦略を踏まえた県の支援策の考え方について</p> <p>4 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成28年第3回沖縄県議会(定例会)

07月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	仲宗根 悟(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 県議選挙を受けて、翁長県政折り返しを迎える今年、県政運営に臨む決意について伺う。</p> <p>(2) 辺野古新基地問題をめぐる国地方係争処理委員会の決定について、県の見解と今後の対応について伺う。</p> <p>(3) 第6回世界のウチナーンチュ大会の内容やどのような計画をしているのか、取り組み状況について伺う。</p> <p>(4) 県民意識調査について伺う。</p> <p>2 伝統文化の保全、継承の取り組みに関して</p> <p>(1) 先人たちによって守り伝えられてきた、沖縄の誇れる文化を正しく継承するための環境づくりや担い手の育成等の取り組みがどのようになされているか伺う。</p> <p>(2) 学校教育での取り組みを伺う。</p> <p>3 産業振興に関して</p> <p>(1) 2015年度の入域観光客数、観光収入ともに過去最高を更新したとするが、2016年度目標を観光収入12%増の6743億円としている。ビジネスチャンスも多岐にわたり、県経済の発展につなげる取り組みも期待がかかる。その施策について伺う。</p> <p>(2) 農林水産物の生産体制、市場への計画的、安定的供給の確立等、取り組み状況について伺う。</p> <p>4 米軍嘉手納基地の騒音激化に関して</p> <p>(1) 米軍嘉手納基地での戦闘機の米国本国からの暫定配備による離着陸訓練の増加により騒音被害は深刻である。嘉手納町が実施した調査でも前年をはるかに上回っていることが明らかである。周辺住民は外来機の飛来中止、騒音防止協定の遵守を強く求めています。県の見解と今後の対応について伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成28年第3回沖縄県議会(定例会)

07月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	比嘉 京子(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 教育行政について</p> <p>(1) 本県の未来は人材育成にある。教育長の決意を伺う。</p> <p>(2) 「生きる力」について認識を伺う。</p> <p>(3) ことし1月、離島出身高校生の寮(群星寮)が開所した。高校のない離島から本島の高校に進学する生徒や家族にとって、待ちに待った朗報である。ところで、八重山における県立高等学校の寄宿舎の現状はどうか、今後の計画について問う。</p> <p>2 保育行政について</p> <p>(1) 待機児童解消と保育所整備の実績と今後の見込みについて問う。</p> <p>(2) 保育士の処遇向上施策と保育士確保施策について問う。</p> <p>(3) 待機児童解消(保護者のニーズ)と子供の安全・保育の質(子供の権利)の両方が担保されることが重要と考えるがどうか。</p> <p>(4) ことし、国は保育士不足に対し暫定的としながら保育士資格を有しない者も採用可とする方針を出している。県の認識はどうか。また、現場からの声はどうか。</p> <p>3 健康長寿沖縄の再生について</p> <p>(1) 昨年度までの施策の評価はどうか。また、本年度の取り組みについて問う。</p> <p>(2) 平均寿命が男女ともに全国1位の長野県は、医療・保健・栄養を柱に、昭和20年代から地道に取り組み現在がある。本県は、長野県から何を学ぶのか具体的に問う。</p> <p>(3) 本県の「健康おきなわ21」の全体目標は、平均寿命・健康寿命の延伸、早世の予防としている。本県の男女の平均寿命と健康寿命の差は何年か、長野県はどうか。健康寿命の延伸と早世の予防を達成するためにはどうすればよいか。</p> <p>(4) 啓発活動と同時に地域での具体的な取り組みが必要と考えるがどうか。</p> <p>4 県立病院について</p> <p>(1) 県立八重山病院の改築の進捗状況と課題について伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成28年第3回沖縄県議会(定例会)

07月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	西銘 純恵(日本共産党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 元米海兵隊員による20歳の女性に対する残忍な事件は断じて許せない。女性の希望、未来、人生が奪われた。基地ある限り米兵犯罪は根絶できない。二度と被害者を出さない。海兵隊の撤退、全基地撤去が沖縄の声となっている。知事の所見を伺う。
- (2) 県議選挙の結果は、翁長県政与党が24人から27人へと圧倒的に勝利した。辺野古新基地断念、普天間基地の閉鎖・撤去、オスプレイの配備撤回の「建白書」を実現する揺るぎない沖縄の民意をさらに強固にして日米政府に突きつけたと考えるが、知事の所見を伺う。
- (3) 「沖縄を含めオールジャパンで最善の解決策を合意して、米国に協力を求めるべきである」という代執行訴訟の和解勧告文を安倍政権は受け入れている。県議選挙の結果を受け安倍政権は、辺野古新基地建設の断念をオールジャパンにしてアメリカに要求しなければならないと思うが、知事の見解を伺う。

2 女性の人権と男女平等の前進について

女性差別撤廃条約は「世界の女性の憲法」と呼ばれ、1979年の国連第34回総会で採択され、日本は1985年に批准している。

- (1) 世界経済フォーラムが毎年行う「男女の格差指数」で日本はどうなっているのか。日本の女性の人権や男女平等について、国際機関からどのような指摘があるのか。
- (2) 1994年採択のILOのパートタイム労働に関する条約を日本はいまだ批准していない。日本が批准すれば、パートタイム労働者にとって何がどう変わるのか。
- (3) 男性と女性の賃金格差はどうなっているか。正規雇用と非正規雇用の男女差はどうなっているか。非正規雇用に占める女性の割合はどうなっているか。改善策を伺う。
- (4) 女性の人権、男女共同参画について学校教育の実態を伺う。男女混合名簿の取り組みは全国と比べてどうか。実施状況と拡充することについて伺う。
- (5) 女性が働き続けるためには保育所の整備が重要です。待機児童問題は全国と比べても深刻であるが、国の財政支援をふやして保育所を増設すべきである。保育所の増設、認可外保育所の支援の拡充、保育士の賃金引き上げの計画を伺う。
- (6) 女性の管理職の割合は、行政と民間でどうなっているか。全国と比べてどうか。女性の管理職の割合を高めるための施策を伺う。

3 子供の育ちを支援する貧困対策について

- (1) 子供の貧困解決の具体的目標と目標年度について伺う。
- (2) 知事を先頭にした取り組み体制、県の体制、県と市町村、民間との連携について伺う。
- (3) 就学援助の利用について、子供調査を行なって貧困率12%の大阪市が小学5年生で25%、貧困率29.9%の沖縄県は18%である。中学2年生で大阪市31%、沖縄県19%となっている。就学援助の利用を大阪市並みにすると、小学5年生、中学2年生、それぞれの割合はどうか。対策を伺う。
- (4) 就学援助の周知が不足していることが課題とされたが、収入と支給モデル事例を示して該当者がもれなく申請できるようにすることについて伺う。
- (5) 就学援助の利用ができて、新学期準備に間に合わないという声がある。在学生の申請を2月、3月に、新入生は入学説明会で周知できるように改善をすること。また、申請を随時受付にすること。

- (6) 生活保護の相談で、ひとり親が車を保有していることを理由にして申請できなかった件数。公共交通機関の整備不十分な沖縄で、仕事のかけ持ちによる通勤、保育所、子供の送迎など車は収入を得るために必須である。車の保有を認めることについて伺う。
- 4 ひとり親家庭等の認可外保育所利用料の補助事業の昨年度の実績。2016年度の申請状況はどうか。市町村への保育所入所申請をできないまま認可外保育園を利用している実態について。対象となる全ての児童に支給するための改善策を伺う。
- 5 最低賃金は最高額時給何円で、沖縄は何円で月収は幾らになるか。時給1500円を目指して、当面、全国一律1000円に引き上げるについて。県が行った労働環境実態調査の結果と課題を伺う。非正規雇用44.5%の削減目標を伺う。
- 6 返済のいらぬ奨学金の募集の進捗を伺う。生活福祉貸付資金や母子寡婦福祉貸付資金は就学資金における保証人を廃止している。沖縄県奨学金の保証人を廃止することについて伺う。
- 7 浦添市道勢理客内間線と勢理客線の交差道路、神森中学校線と内間経塚線の丁字路は、事故の多い危険な交差点で、10年以上前から地元自治会やPTAから信号機設置を要請してきたところである。早急に信号機を設置することについて伺う。
- 8 県道241号線沿いの浦添市前田にある幸地バス停付近は、雨の時期に冠水をして歩行者に危険な場所である。雨水排水のための改修を行うことについて伺う。
- 9 キャンプ・キンザーの汚染問題に関して、去る2月議会での答弁は、昭和47年以降の有害物質の流出事故について事故対策の記録がない。立入調査のためにキンザー周辺の海域3地点の底質を採取して有害物質の有無を分析する。元基地従業員から聞き取り調査するとの答弁であった。調査の結果を伺う。また、立入調査の予定を伺う。
- 10 那覇港湾施設移設に関する協議会などでの那覇軍港の移設先に関する議論の内容を問う。浦添市、沖縄県、那覇港管理組合のそれぞれの意見はどうか。浦添市長の軍港受け入れ表明が、那覇港湾の民港整備計画の足かせになっていないか。軍港ありきでは那覇港湾計画に重大な支障が出ると思うが、見解を伺う。
- 11 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成28年第3回沖縄県議会(定例会)

07月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	玉城 満(おきなわ)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について (1) 日米地位協定の見直しを実現させるための手順について知事の見解を伺う。</p> <p>2 文化観光スポーツ部関連について (1) 沖縄県文化振興会の委託事業について伺う。 (2) クルーズ船受け入れについて ア 那覇港クルーズターミナルの実績と課題について伺う。 イ 中城湾港・本部港のクルーズ船受け入れの実績と課題について伺う。 (3) 県立芸大について ア 卒業後の就職率について伺う。 イ 音楽学部沖縄文化コースについて伺う。</p> <p>3 総務部関連について (1) 復帰以降の沖縄振興事業費の総額について伺う。 (2) 復帰以降の沖縄県の国税収納額について伺う。</p> <p>4 企画部関連について (1) 鉄軌道について ア 導入計画の進捗について伺う。 イ 県内各自治体が広域的なLRT導入の気運が高まっているが県の関わり、対応を伺う。</p> <p>5 土木建築部関連について (1) 県発注工事の県産品資材の利用頻度について伺う。 (2) 平成29年から導入予定の一人親方の社会保険加入問題について県の見解を伺う。</p> <p>6 子供の貧困問題関連について (1) 全県的なキャンペーンについて県の見解を伺う。</p> <p>7 我が会派の代表質問関連について</p>			

一般質問通告表

平成28年第3回沖縄県議会(定例会)

07月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
9	17分	宮城 一郎(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 沖縄県アジア経済戦略構想及び姉妹・友好都市提携について</p> <p>(1) 「日本国際貿易促進協会」催行の訪中団同行について</p> <p>ア 訪中団同行の意義・目的、成果及び今後の課題をお聞かせいただきたい。</p> <p>(2) 本県の姉妹・友好都市提携の状況について</p> <p>ア 本県の姉妹・友好都市提携の状況はどうなっているか。</p> <p>イ 今後の姉妹・友好都市提携の予定があればお聞かせいただきたい。</p> <p>(3) 東アジア及び東南アジアにおける本県の果たすべき役割について</p> <p>ア 「沖縄県アジア経済戦略構想」に続くフェーズとして、「沖縄県アジア平和戦略構想」を展望する考えはないか。</p> <p>2 普天間基地問題について</p> <p>(1) 5年以内の運用停止について</p> <p>ア 改めて5年の起算日と期限をお聞かせいただきたい。</p> <p>イ 本県の要望、目標としても同様か。</p> <p>(2) 普天間飛行場負担軽減推進会議について</p> <p>ア 改めて経過と今後の開催見通しをお聞かせいただきたい。</p> <p>イ 次回開催に際して、本県の方針、スタンスをお聞かせいただきたい。</p> <p>(3) 辺野古新基地建設との因果関係について</p> <p>ア 政府は辺野古新基地建設が普天間基地の5年以内の運用停止の条件と主張しているが、本県として認識をお聞かせいただきたい。</p>			